

# 11月は「あいち多文化共生月間」です!

愛知県では、国籍などのちがいににかかわらず、すべての県民の皆様が、ともに安心して暮らし活躍できる「多文化共生社会」をめざしています。そこで、毎年11月を「あいち多文化共生月間」と定め、多文化共生に関する理解の促進や、日本人県民と外国人県民との交流の推進に向けて、情報発信やイベント開催などを集中的に行います。

「多文化共生フォーラムあいち2019」のほか、市町村・NPO団体等の県内各地で開催されるイベントに是非ともご参加いただき、一緒に「多文化共生」について考えてみませんか。

## あいち人権啓発プラザ企画展「外国人県民との共生を考える～多文化共生社会をめざして～」

期 間:2019年11月1日(金)～11月29日(金)

会 場:あいち人権啓発プラザ(名古屋市中区三の丸3-2-1 愛知県東大手庁舎3階)

## 多文化共生フォーラムあいち2019

日 時:2019年11月23日(土・祝) 午後1時～午後4時

会 場:名古屋国際センター別棟ホール(名古屋市中村区那古野1丁目47番1号)

内 容:基調講演、パネルトーク、多文化共生推進功労者及び作文コンクール表彰式

※各イベントについての情報は「あいち多文化共生ネット」からご確認ください。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka/>

問合せ先 県民文化局県民生活部社会活動推進課多文化共生推進室  
電 話:052-954-6138 E-mail:tabunka@pref.aichi.lg.jp



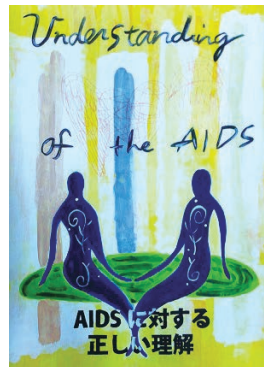
愛知県多文化共生シンボルマーク

# 12月1日は「世界エイズデー」です。

世界エイズデーは、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO(世界保健機関)が1988年に制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

愛知県では世界エイズデーを含む一週間を「エイズ予防強化週間」と位置づけ、12月1日(日)には、イオンモール常滑でエイズ予防強化週間ポスター入賞作品の展示などエイズキャンペーンを実施します。

HIV(エイズの原因となるウイルス)に感染しても、適切な治療を受けることで、社会生活を続けていくことができます。



2018年度 エイズポスターコンクール 中学生の部受賞 清水梨瑚さんの作品



2018年度 エイズポスターコンクール 高校生の部受賞 一色咲良さんの作品

## 一人一人の心に「レッドリボン」を /

“レッドリボン”は、古くからヨーロッパに伝承される風習のひとつで、もともと病気や事故で人生を全うできなかった人々への追悼の気持ちを表すものでした。現在はUNAIDS(国連合同エイズ計画)のシンボルマークにも採用されている、エイズに対する理解と支援の象徴です。

レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。



### × よくある誤解・思い込み ×

- ・握手や会話で感染する。
- ・お風呂やプールと一緒に入ると感染する。
- ・せきやくしゃみで感染する。
- ・便座や食器、タオルなど日用品の共用で感染する。
- ・血を吸った蚊やダニなどに刺されることで感染する。

### ○ 正しい知識 ○

- ・HIVの感染経路は性的接触、血液感染、母子感染の3つに限られ、日常生活の接触では感染しません。
- ・治療薬の開発により、HIVに感染しても、早期発見と早期治療によって、エイズの発症を抑えることができます。
- ・近年は、性的接触での感染が増えています。特定のパートナーであっても、感染のリスクがないとは限りません。HIVはだれにとっても身近な問題です。

